



(全国社会福祉協議会のマークです。)

かもし社協だより

令和5年7月

第172号

編集・発行 社会福祉法人 川本町社会福祉協議会 (☎72-0104)

ホームページ

川本町社協

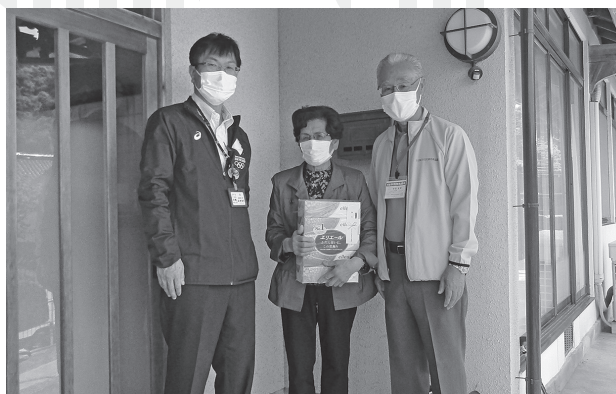
検索

令和5年度も

見守り活動『一斉訪問』を実施します!

川本町社会福祉協議会では、今年度も、高齢者ひとり暮らし世帯等の見守り活動の一環として、地域の協力団体の皆様にご協力をいただきながら、見守り安心ネットワーク事業を行っております。

5月12日(金)の民生児童委員の日には、見守り活動『一斉訪問』として、各地区の民生児童委員と福祉活動協力員によるひとり暮らしのお宅訪問を実施しました。上因原地区には、中垣民生児童委員と高砂健康福祉課長が訪問され、皆さんの会話が弾む有意義な時間となりました。



令和5年度 一斉訪問日及び協力団体は以下のとおりです。

一 斉 訪 問 日

5月12日(民生児童委員の日)
7月21日(文の日)
9月15日(老人の日)
11月9日(119番の日)
1月10日(110番の日)
3月25日(電気記念日)

協 力 団 体

・民生児童委員
・川本警察署
・川本消防署
・邑智郡浄化槽センター
・川本町ボランティア会
・福祉活動協力員
・三原駐在所
・川本郵便局

(順不同)

令和4年度事業報告

一、地域福祉活動（住民全般）

- ①総合相談・情報提供
●総合相談
（開設日Ⅱ土・日・祝日を除く
毎日開設 相談件数13件）
●他機関・団体が行う法律相談
（無料相談）等の情報提供
- ②小地域福祉活動
●人材の養成
（老人クラブ活動等）
●活動拠点の確保（すこやかセン
ター、悠湯プラザの活用）
- ③ボランティア基盤の強化
●ボランティアセンターの基盤強
化（ボランティア団体との連絡
調整・研修会等）
- ④共同募金配分金事業
●「社協だより」の発行（年4回）
●敬老の日祝い品贈呈
●百歳祝い品贈呈
●ガンバールンゲーム大会の開催
●見守り安心ネットワーク（高齢
者独居世帯等の見守り活動）
「見守り通信（お元気ですかハ
ガキ）」の発送」
Ⅱ年6回・507通

- 「一斉訪問」
Ⅱ年5回・449世帯訪問
●福祉活動協力員事業
（一斉訪問等）
●ひとり暮らしの会支援
（茶話会等 年8回）
●小学校入学祝い品贈呈
●歳末たすけあい配分事業の実施
⑤その他
●福祉用具の貸与
（車椅子、歩行器、ベッド等の
貸出）
●生活資金の貸付
●生活福祉資金の事務取扱

二、日常生活自立支援事業

- 福祉サービスの利用援助
- 日常的金銭管理
- 書類等の預かりサービス

三、生活困窮者自立支援事業

- 生活困窮者からの相談等

四、介護予防生活支援事業

- （一）通所型介護予防事業
①悠湯プラザ通所

- 生きがい通所事業
Ⅱ延べ利用者数・606人

（二）介護予防事業

- ①地域住民グループ支援事業
（ミニデイサービス・各自治会を
単位として開催）
●開催回数Ⅱ167回
●参加人員Ⅱ871人
- ②体力づくり運動指導事業
（すこやかセンター、悠邑ふるさ
と会館で実施）
●開催回数Ⅱ28回
●参加人員Ⅱ306人
- ③転倒骨折予防教室
（音戯館プールで実施）
●開催回数Ⅱ23回
●参加人員Ⅱ136人
- ④研修等
●ケア会議への参加（月1回）

五、子育てサポートセンター事業

- ①小学生対象事業
●子どもの居場所事業
●体験活動「きつず・くらぶ（工
作教室、運動教室等）」
- ②在宅児家庭対象事業
●施設開放「あそびのひろば」

令和4年度 川本町社会 福祉協議会
事業・決算報告

六、事務局

（一）川本町社会福祉協議会事務局

- ①通常理事会Ⅱ3回開催
- ②臨時理事会Ⅱ1回開催
- ③定時評議員会Ⅱ1回開催
- ④臨時評議員会Ⅱ2回開催
- ⑤部会（福祉部会）Ⅱ1回開催
- ⑥評議員選任・解任委員会
Ⅱ1回開催
- ⑦監査Ⅱ令和3年度決算監査、令和
4年度定期監査
- ⑧研修等

- 体験活動「わくわくデー」
- 体験活動「ベビーマッサージ&
リフレッシュ教室」
- ③情報提供・相談に関する事、研修
会等

（二）各種団体事務局

- ①川本町民生児童委員協議会
- ②川本町老人クラブ連合会
- ③川本町人材センター
- ④川本町ボランティア会
- ⑤日本赤十字社島根県支部
川本町分区分
- ⑥川本町共同募金委員会

▶ 資金収支決算書

（単位：円）

収 入

項 目	決 算 額	説 明
会 費 収 入	1,460,400	
寄 付 金 収 入	1,311,367	一般・香典返し寄付金
経 常 経 費 補 助 金 収 入	23,291,812	町補助金、共同募金配分金（一般・歳末）、県社協補助金
受 託 金 収 入	23,632,227	町受託金、県社協受託金
貸 付 事 業 収 入	0	生活資金貸付償還金
事 業 収 入	925,540	葬儀用品売上・すこやかセンター利用料など
受 取 利 息 配 当 金 収 入	7,324	利息収入
そ の 他 の 収 入	47,790	
そ の 他 の 活 動 に よ る 収 入	502,800	
合 計	51,179,260	

（単位：円）

支 出

項 目	決 算 額	説 明
法 人 運 営 事 業	24,631,332	法人運営費など
地 域 福 祉 推 進 事 業	910,417	生活福祉資金貸付事業など
介 護 予 防 等 生 活 支 援 事 業	5,860,779	悠湯プラザ通所事業、ミニデイサービスなど
福 祉 サ ー ビ ス 利 用 援 助 事 業	1,307,760	日常生活自立支援事業
共 同 募 金 配 分 金 事 業	1,681,442	一般配分金・歳末助け合い配分金
子 育 て サ ポ ー ト セ ン タ ー 事 業	9,404,631	在宅児家庭支援事業、放課後居場所事業など
地 域 福 祉 ・ 保 健 セ ン タ ー 指 定 管 理 事 業	1,261,580	施設維持管理費
自 立 相 談 支 援 事 業	5,000,000	生活困窮者自立相談事業
葬 儀 用 品 販 売 事 業	666,215	葬儀用品仕入
合 計	50,724,156	

前 期 末 支 払 資 金 残 高	26,336,538
当 期 末 支 払 資 金 残 高	26,791,642

任期満了に伴う 役員改選について

任期満了に伴い、令和5年5月24日の定時評議員会において、左記の方々が新たに役員として選任され、同6月6日の理事会において、会長・副会長が選定されました。

任期は、令和5年5月24日から令和7年の定時評議員会の終結の時までです。よろしく願います。

退任されました前役員の皆様には、これまで社協経営にご尽力いただき、ありがとうございました。

●新役員紹介

《敬称略》

会長	副会長	理事						監事	
三上 能人	住田 達宣	佐々木 ミチ子	高砂 康喜	樋口 千代子	安田 誠人	山下 昱	今田 哲司	百田 秀人	

会長就任のごあいさつ

川本町社会福祉協議会

会長 三上 能人

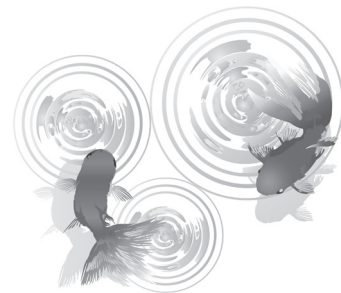
このたびの理事会において、引き続き会長に選任され、責任の重さを痛感いたします。社会福祉協議会の将来に向けての役割が模索されている現在、我々の社会福祉協議会も行政等の関係機関と連携して「地域と地域の皆様の期待に応えるべく能力のアップが必要と考えます。よろしくご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

地域福祉の主たる担い手としての社会福祉協議会（社協）は、1951年（昭和26年）の社会福祉事業法（現社会福祉法）に基づき、都道府県社協が設置され、順次、市町村社協が生まれました。以来、非営利の民間組織として、住民のニーズを把握し、住民と共に問題解決に取り組む地域活動が開始され、今に至っています。

この時代の流れを、団塊の世代の最後に属する私自身が、最も基本的な家族形態の観点から振り返ると、祖父母と共に暮らし成長した環境は、昭和30年代後半の高度経済成長期に入って、両親と子どもから成る「核家族」

へと変容、そして、平成の30年余りを経て令和の現代へ。家族の形態は、現に眼前に展開するとおり個人化が進み、流動的で複雑な多様性を呈しています。子育てや独居高齢者等の地域の身近な福祉課題が社会構造の変化から読み取れます。このような状況下で、政府が「あるべき地域社会」として打ち出したのが「地域共生社会」に外なりません。福祉の原点は個人にあり、ここから「自助、互助、共助、公助」という地域福祉の基本が求められていると考えます。

昨今はまた、ウェルビーイング (Well-being) という言葉をよく耳にします。「良い状態にあること」の意から「健康」とか「幸福（度）」として使われます。一般的には、この言葉は「心」と「身体」と「社会関係（人のつながり）」の三位一体の良好な状態と説明されます。個人や地域社会、そして地域福祉のことを考え、行動する上でも有効な考え方であると思います。身近なところから住民として「住みやすい地域社会」を目指して、共に工夫・努力をしていきたいものです。



在宅児対象事業

～あそびのひろば～ “えほんのじかん”

『あそびのひろば』では、月に1回かわもと図書館による“えほんのじかん”を開催しています！移動図書館では、絵本や育児本、雑誌などその場でゆっくり読書したり、借りることができます。また、絵本はもちろん手遊びやパネルシアターなど、親子でおはなしの世界を楽しむことができますよ！

お子さんの生活リズムやご家庭のご都合に合わせて、気軽に遊びに来てみてくださいね♪



居場所サポーター研修会

～普通救命講習Ⅰ～

放課後に居場所で子ども達の見守りをしているサポーターの皆さんが、川本消防署の指導員による『普通救命講習Ⅰ』を受講しました。

胸骨圧迫・AEDの講習を受けた後、研修用のAEDを使い、倒れた人を発見してから救急車が到着するまでの実技体験。止血法や喉詰まり対処法など、日常生活の中で私達でも一次救命処置ができるよう指導していただきました。

～受講者の感想～

事前にeラーニングで講習を受けていたが、いざ、直面すると戸惑うこともあり、心肺蘇生法も思っていたより力が必要だと分かりました。普段倒れている方を見かけることは無いですが、その状況に置かれた場合、なんとか役に立てたらと思います。

今日、習ったことが、活かされるような事態に直面せずに過ごしたいと願いますが、それでもいつ起こるか分からない事故や病気に対し、繰り返し講習を受けることで、正しい手当てができれば良いと感じました。安心・安全に過ごせるサポセンのために、しっかり見守りを心がけたいと思います。



心肺蘇生法の流れをいかにスムーズに行えるかが、人の生死を決めてしまう、とても大切な行動だと改めて分かりました。もしものことが起こったとき、動ける自分でありたいと思います。

事前にeラーニングで講習を受講していましたが、時間が経つとやはり忘れてしまっていることがいくつかありました。実際の場面で悩まず、スムーズにできるように、講習は何度でも受講するのいいと思いました。誰かがやってくれると思わず、自分が進んで行えるように何度も学び、覚えていこうと思います。

福祉活動協力員 紹介

令和5年度の福祉活動協力員の皆様をご紹介します。

協力員の皆様にはご苦勞をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

また、退任された協力員の方々には、長い間ご苦勞さまでした。

令和5年4月現在（敬称略）

地区名	協力員名	上因原	表	慶子
木路原	谷 智子	下因原	正田富士枝	
日の出	小畑 節美	日向 木村 俊晃		
上新町	坂根 勝	多田 石川美津子		
中新町	川平 克憲	久座仁 菅田 正子		
下新町	前田 輝子	谷 戸 近重由美子		
元町	榎平留美子	三 島 中島こづ恵		
本町	三宅 眞弓	笹 畑 後藤アツ子		
天神町	瀧谷 秀夫	西 梶 眞千子		
双葉	奥田かずえ	八 幡 長谷田文雄		
上谷	小林 秀穂	三 原 松井 禮子		
下谷	丸山 寛宣	田 窪 藤原 君枝		
芋畑	大畑 長美	南佐木 横田 祐子		
矢谷	伊藤 悦子	親 和 石川 君子		
長原	西谷 浩樹	湯 谷 平田 博子		
市井原	安田美代子	三 俣 岡 幸恵		
中倉	大旗 初女	三 大字 上田 武人		

は、令和5年度から新たに交代された方です。

ありがとう

ございました

香典返し御寄付

（令和五年四月～六月まで）

（御住所）

（御芳名）

多田 田中 修様
（故 田中 薫様）
谷 戸 上坂 学様
（故 上坂二三男様）
因 原 宮前 裕二様
（故 宮前 國平様）
川 本 小笠原 節子様
（故 松島左香枝様）
川 本 椿 和広様
（故 椿 登様）
川 本 原 田 孝介様
（故 原田 紀孝様）
川 本 柳 樂 暢様
（故 柳樂ミヤコ様）
川 本 東 正 信様
（故 東 榮子様）
川 本 宮 田 賢司様
（故 宮田 政彦様）
川 本 豊 島 行 秀様
（故 豊島 幸子様）

社協だより 第171号の一部訂正について

令和5年4月発行の社協だより 第171号（4ページ）の記載内容に誤りがございました。深くお詫び申し上げますとともに、以下の通り訂正させていただきます。

ミニデイサービス

開催場所 各自治会の自治会館・集会所

開催日時

週	時間	月	火	水	木	金
1	9:30～ 13:30～			中 倉	谷	
2	9:30～ 13:30～	三 原		三 大字	本町・元町	西
3	9:30～ 13:30～	南佐木	市井原			笹 畑
4	9:30～ 13:30～	双 葉	湯 谷	三 島	矢 谷	

（御住所）

（御芳名）

川 下 日 高 茂様
（故 日高美津江様）
川 本 片 岡 明 徳様
（故 片岡 通泰様）
湯 谷 横 田 哲 夫様
（故 池田フサ子様）